

MHAM US インカムオープン Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年8月2日～2023年1月30日

第51期	決算日：2023年1月30日
------	----------------

Aコース(為替ヘッジあり)

第51期末 (2023年1月30日)	基準価額	9,166円
	純資産総額	722百万円
第51期	騰落率	△3.9%
	分配金合計	120円

Bコース(為替ヘッジなし)

第51期末 (2023年1月30日)	基準価額	10,992円
	純資産総額	1,393百万円
第51期	騰落率	△3.7%
	分配金合計	140円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

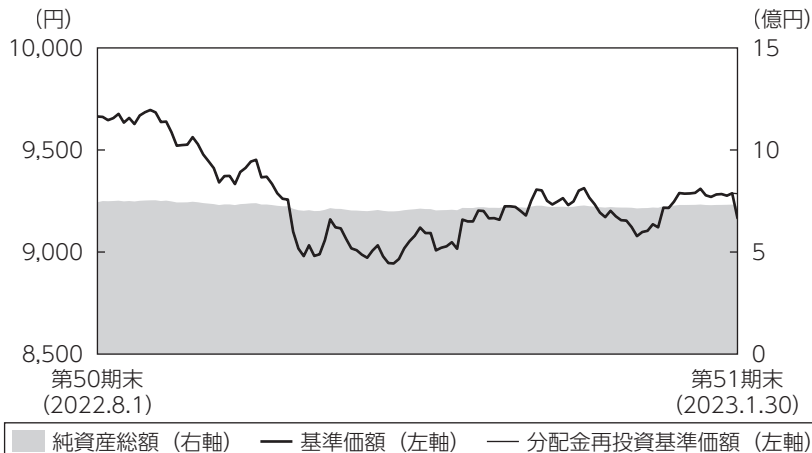
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

■ MHAM USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）

■ 基準価額等の推移



第51期首： 9,664円
 第51期末： 9,166円
 (既払分配金120円)
 騰落率： Δ 3.9%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

「LA USインカムマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の高格付け債やハイイールド債、転換社債等の株式関連債に投資し、為替ヘッジを行った結果、高格付け債市場が下落したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第51期		項目の概要
	(2022年8月2日 ~2023年1月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	84円	0.905%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,254円です。
(投信会社)	(41)	(0.439)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(38)	(0.411)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	4	0.040	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.036)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	87	0.945	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

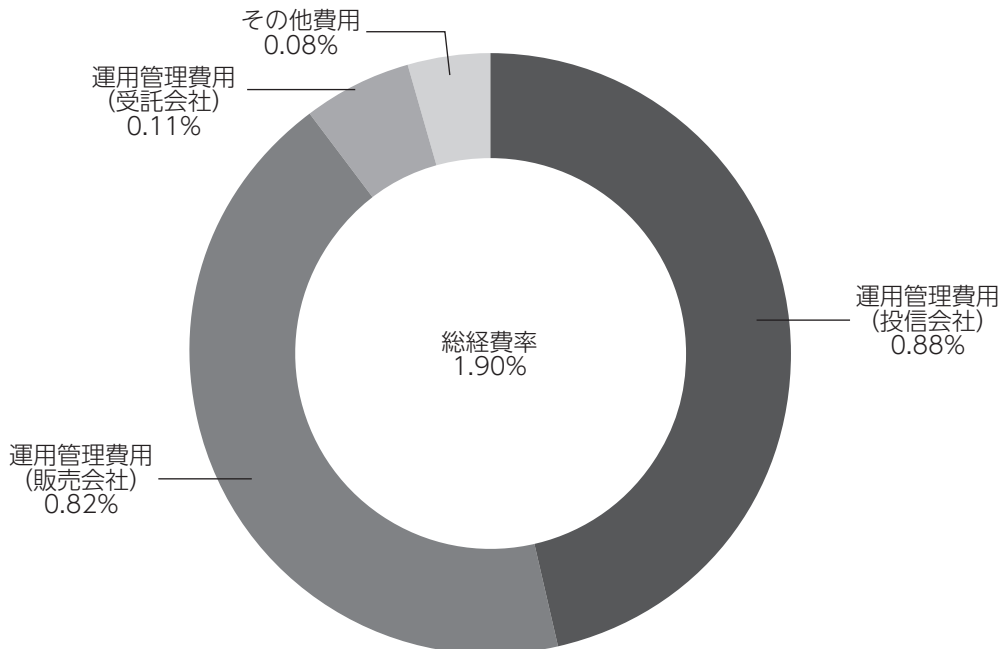
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



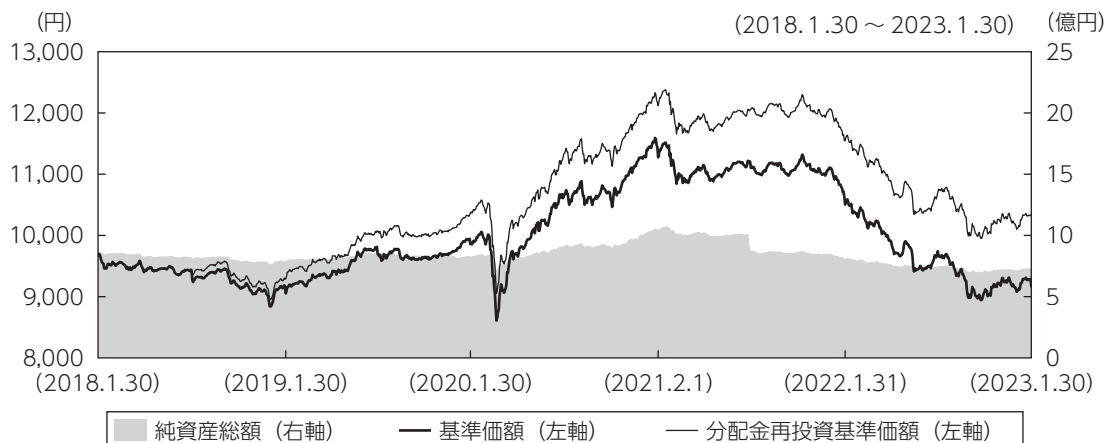
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



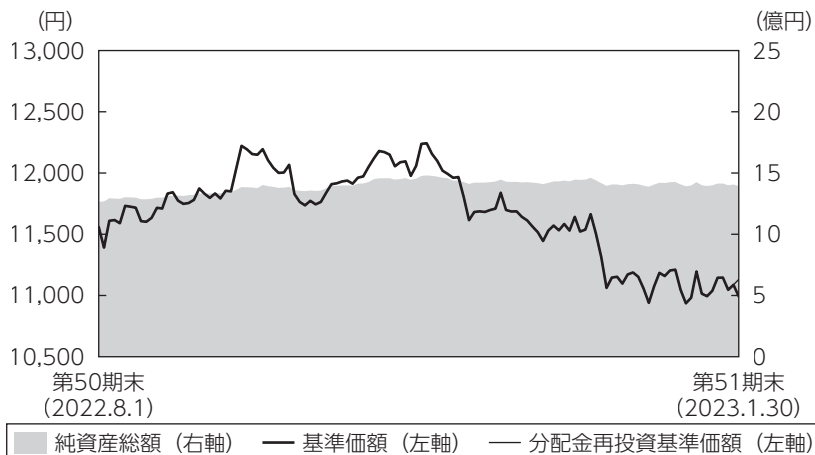
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年1月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年1月30日 期首	2019年1月30日 決算日	2020年1月30日 決算日	2021年2月1日 決算日	2022年1月31日 決算日	2023年1月30日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,707	9,052	9,857	11,275	10,504	9,166
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.3	11.6	16.9	△4.8	△10.5
高格付け債指数 (円ヘッジベース) の騰落率 (%)	—	△1.4	8.2	4.3	△3.4	△12.4
ハイイールド債指数 (円ヘッジベース) の騰落率 (%)	—	△1.8	7.4	5.2	1.7	△8.2
株式関連債指数 (円ヘッジベース) の騰落率 (%)	—	△1.0	18.5	45.1	△6.0	△9.0
純資産総額 (百万円)	862	783	823	1,039	801	722

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は高格付け債指数 (円ヘッジベース)、ハイイールド債指数 (円ヘッジベース) および株式関連債指数 (円ヘッジベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 各参考指数の算出にあたっては基準価額への反映を考慮して前営業日の数値を用いております (以下同じ)。

■ MHAM USインカムオープンBコース (為替ヘッジなし)

■ 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

「LA USインカムマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の高格付け債やハイイールド債、転換社債等の株式関連債に投資した結果、高格付け債市場が下落したことや米ドルが対円で下落したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第51期		項目の概要
	(2022年8月2日 ~2023年1月30日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	106円	0.905%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,669円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(51)	(0.439)	
(販売会社)	(48)	(0.411)	
(受託会社)	(6)	(0.055)	
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	5	0.040	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(4)	(0.036)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	110	0.945	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

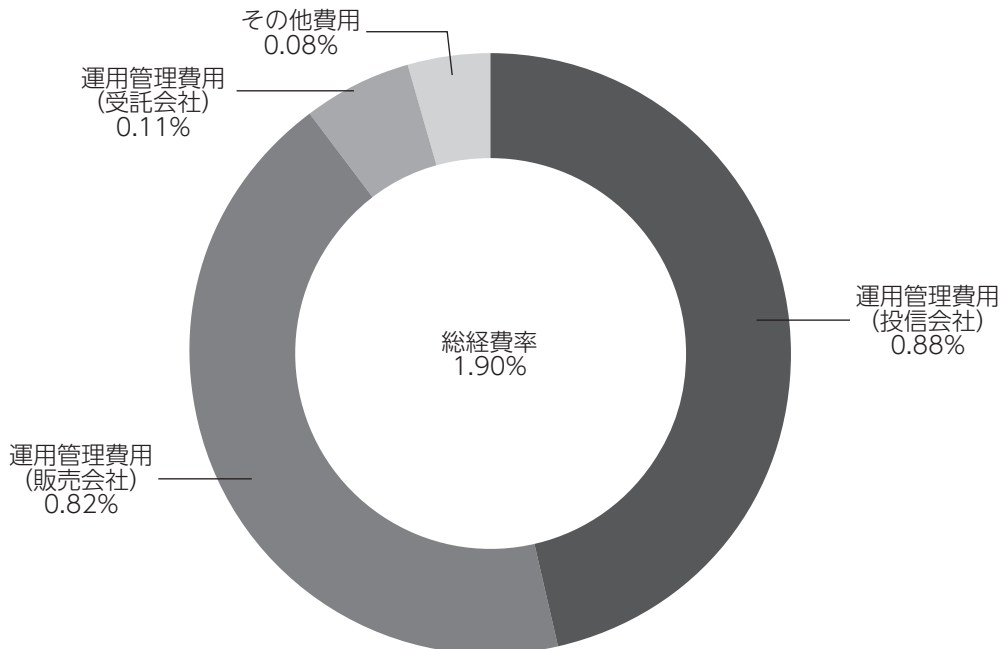
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



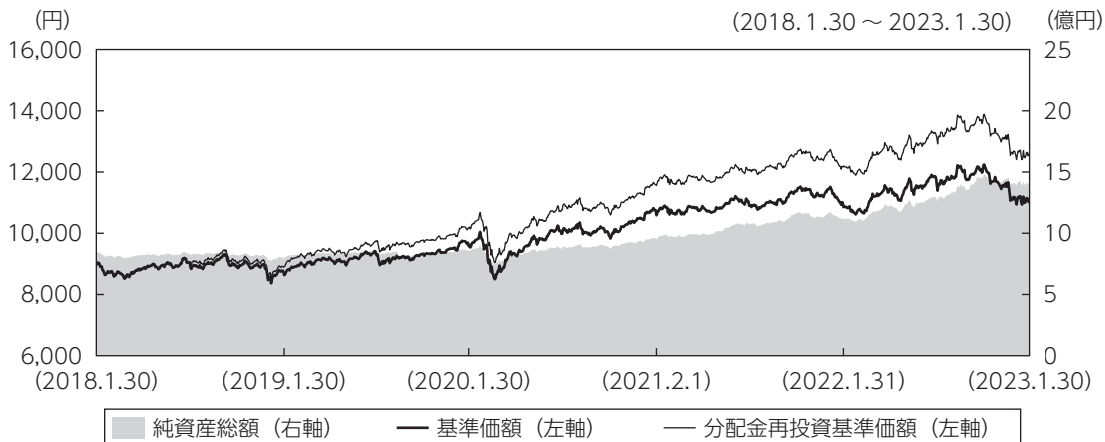
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年1月30日の基準価額に合わせて指数化しています。

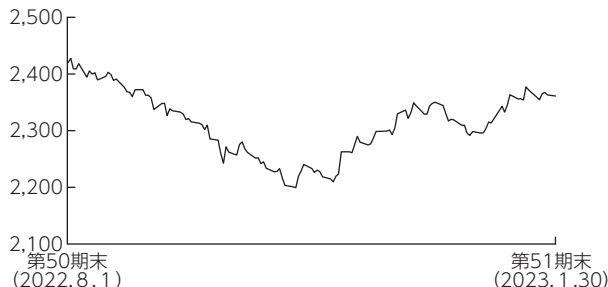
	2018年1月30日 期首	2019年1月30日 決算日	2020年1月30日 決算日	2021年2月1日 決算日	2022年1月31日 決算日	2023年1月30日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,040	8,636	9,577	10,586	10,856	10,992
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	280	280	280	280	280
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.4	14.2	13.6	5.2	3.8
高格付け債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	1.7	11.0	1.2	7.0	2.3
ハイイールド債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	1.1	9.9	2.1	12.4	7.2
株式関連債指数 (円換算ベース) の騰落率 (%)	—	1.5	20.8	40.0	3.8	6.2
純資産総額 (百万円)	837	791	852	945	1,107	1,393

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は高格付け債指数 (円換算ベース)、ハイイールド債指数 (円換算ベース) および株式関連債指数 (円換算ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 各参考指数は、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては基準価額への反映を考慮して前営業日の米ドルベースの指数値を当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しています (以下同じ)。

■ MHAM USインカムオープン Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

投資環境

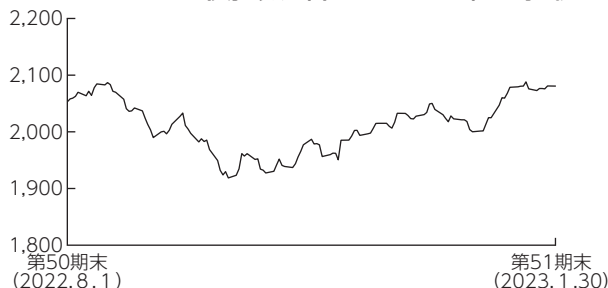
＜高格付け債指数 (米ドルベース) の推移＞



＜高格付け債＞

米国高格付け債市場は、下落しました。F R B (米連邦準備理事会) 議長がインフレ抑制に向けて利上げ継続姿勢を示したことやF O M C (米連邦公開市場委員会) の投票権を持つメンバーの政策金利見通しが引き上げられたことなどから、2022年10月にかけては下落 (利回りは上昇) しました。その後は、米C P I (消費者物価指数) の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景にF R Bによる利上げペース鈍化への期待が高まったことから下落幅を縮小しました。

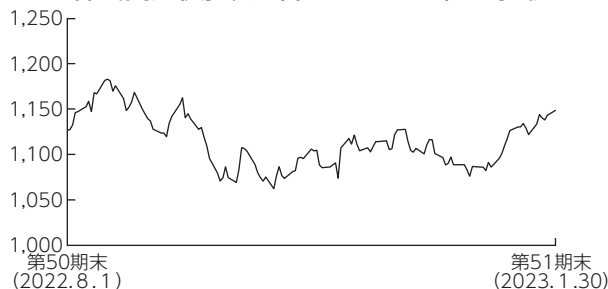
＜ハイイールド債指数 (米ドルベース) の推移＞



＜ハイイールド債＞

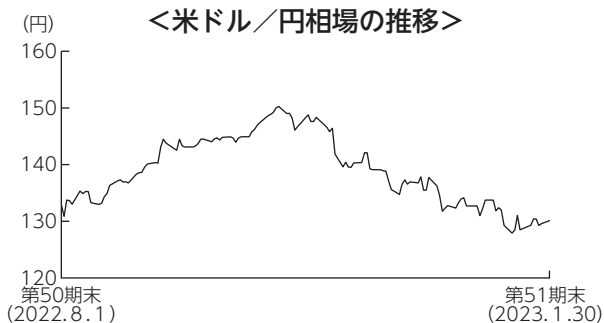
米国ハイイールド債市場は、上昇しました。インフレ高進による収益圧迫など米企業業績を巡る懸念の高まりなどから、2022年9月にかけては下落基調で推移しました。その後は、米C P Iの伸びが市場予想を下回ったことなどを背景にF R Bによる利上げペース鈍化への期待が高まったことから上昇に転じ、期を通じては上昇しました。

＜株式関連債指数 (米ドルベース) の推移＞



＜株式関連債＞

米国株式関連債市場は、上昇しました。期初は急速な利上げに対する懸念が和らいだことなどから上昇する場面も見られましたが、インフレ高進による収益圧迫など米企業業績を巡る懸念の高まりなどから、2022年9月にかけては下落しました。その後は一進一退で推移しましたが、期末にかけては米C P Iの伸びが市場予想を下回ったことなどを背景にF R Bによる利上げペース鈍化への期待が高まったことから上昇し、期を通じては上昇しました。



<為替市場>

米ドルは、対円で下落しました。

インフレ加速に対する懸念が高まるなか、F R Bによる利上げペースの加速が意識されたことなどから2022年10月中旬にかけて上昇しました。その後はF R Bが年内に利上げ幅を縮小するとの観測が高まったほか、日本政府・日本銀行が円買い・ドル売りの為替介入を実施したことや、日本銀行が長期金利の許容変動幅の拡大を決定し実質的な金融緩和縮小と受け止められたことなどから下落し、期を通じては下落しました。

ポートフォリオについて

●MHAM USインカムオープンAコース (為替ヘッジあり)

「LA USインカムマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いました。

●MHAM USインカムオープンBコース (為替ヘッジなし)

「LA USインカムマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

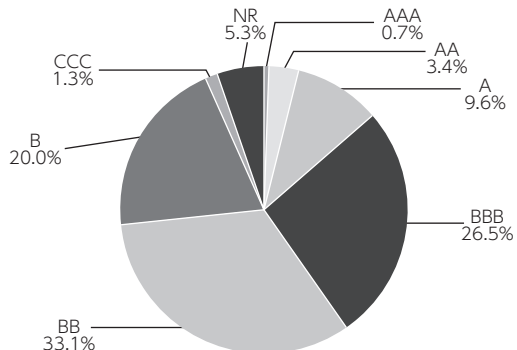
●LA USインカムマザーファンド

各セクターの相対的な価値判断に基づき、期を通じてハイイールド債や高格付け債を中心にポートフォリオを構成しました。当期は株式関連債の比率を引き上げた一方、ハイイールド債や高格付け債の比率を引き下げました。格付け別では、B B B格の比率を引き上げた一方、B格やB B格の比率を引き下げました。また、債券の組入比率は高位を維持しました。

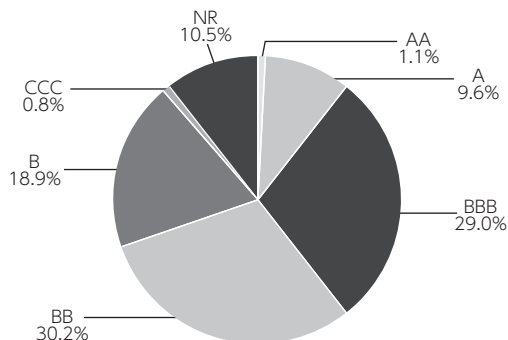
上記の運用を行った結果、高格付け債市場が下落したことや米ドルが対円で下落したことなどから、基準価額は2.9%下落しました。

<公社債の格付け別構成>

期首



期末



(注1) 格付け別構成は、マザーファンドの公社債現物に対する評価額の割合です。(新株予約権付社債(転換社債)を含みます。)

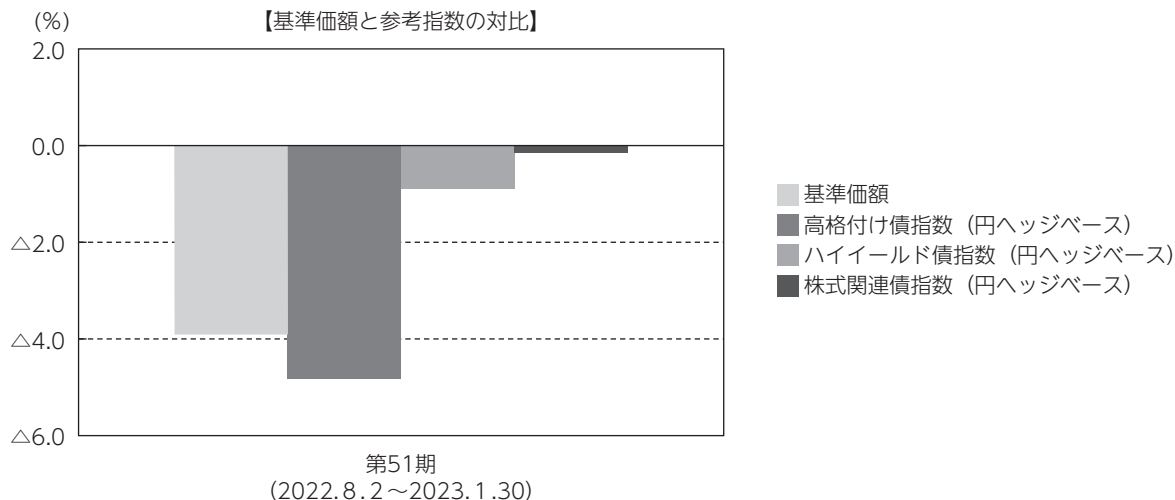
(注2) 格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

(注3) 格付けが付与されていない銘柄についてはNRと表示します。

■ MHAM USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、配当等収益の水準および基準価額の水準などを勘案して、下記のとおりといたしました。なお、分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年8月2日 ～2023年1月30日
当期分配金（税引前）	120円
対基準価額比率	1.29%
当期の収益	105円
当期の収益以外	14円
翌期繰越分配対象額	3,758円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

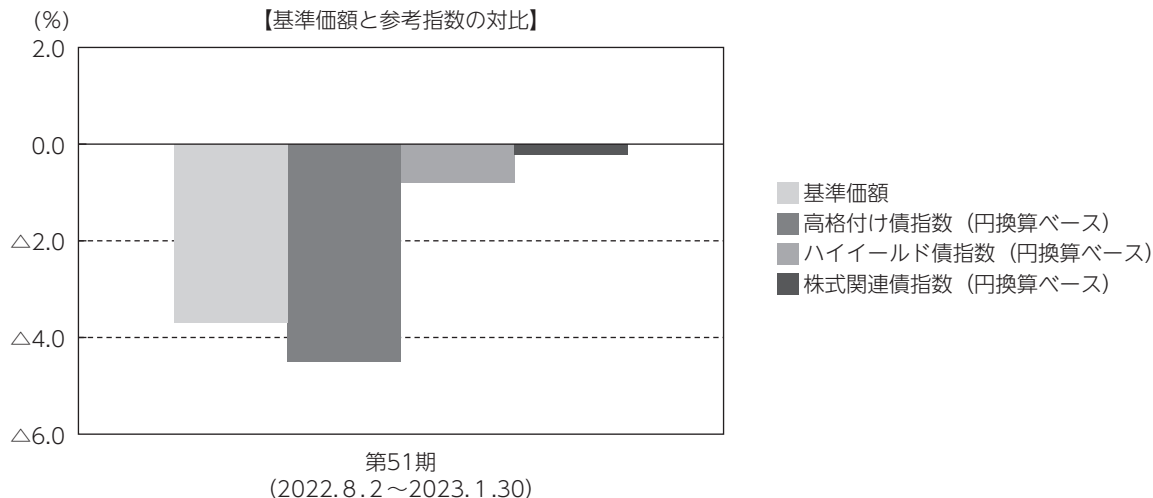
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■MHAM USインカムオープンBコース（為替ヘッジなし）

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■分配金

当期の収益分配金は、配当等収益の水準および基準価額の水準などを勘案して、下記のとおりといたしました。なお、分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年8月2日 ～2023年1月30日
当期分配金（税引前）	140円
対基準価額比率	1.26%
当期の収益	128円
当期の収益以外	11円
翌期繰越分配対象額	4,826円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

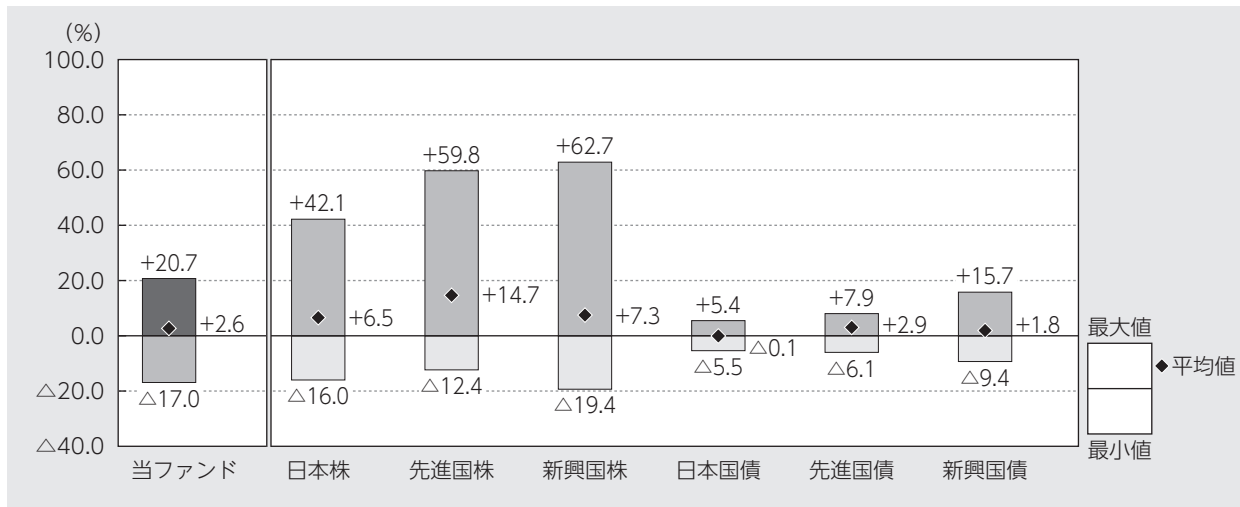
- MHAM USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）
「LA USインカムマザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。また、組入外貨建資産に対して、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
- MHAM USインカムオープンBコース（為替ヘッジなし）
「LA USインカムマザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。また、組入外貨建資産に対して、為替ヘッジを行いません。
- LA USインカムマザーファンド
米国の高格付け債やハイイールド債、転換社債等の株式関連債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。
資産配分については、ハイイールド債および高格付け債を中心としたポートフォリオとし、株式関連債については利回りを確保しつつ、株式市場に連動した価格上昇が期待できる銘柄に着目して運用します。
個別銘柄選択においては、発行会社の有する手元流動性、経営陣の質、実物資産の価値を重視します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1997年1月31日から無期限です。	
運用方針	主として米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM USインカムオープンAコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)	LA USインカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券等に直接投資する場合があります。
	LA USインカムマザーファンド	米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債を主要投資対象とします。
運用方法	米国の債券市場3セクター（高格付け債・株式関連債・ハイイールド債）に分散投資します。 組入外貨建資産に対して、Aコースは原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図り、Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。 LA USインカムマザーファンドにおける運用指図に関する権限をロード・アベット・アンド・カンパニーエルエルシーに委託します。	
分配方針	毎年原則として1月30日および7月30日に決算を行い、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から運用実績に応じて分配します。 分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ MHAM USインカムオープンAコース（為替ヘッジあり）



2018年1月～2022年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

* 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

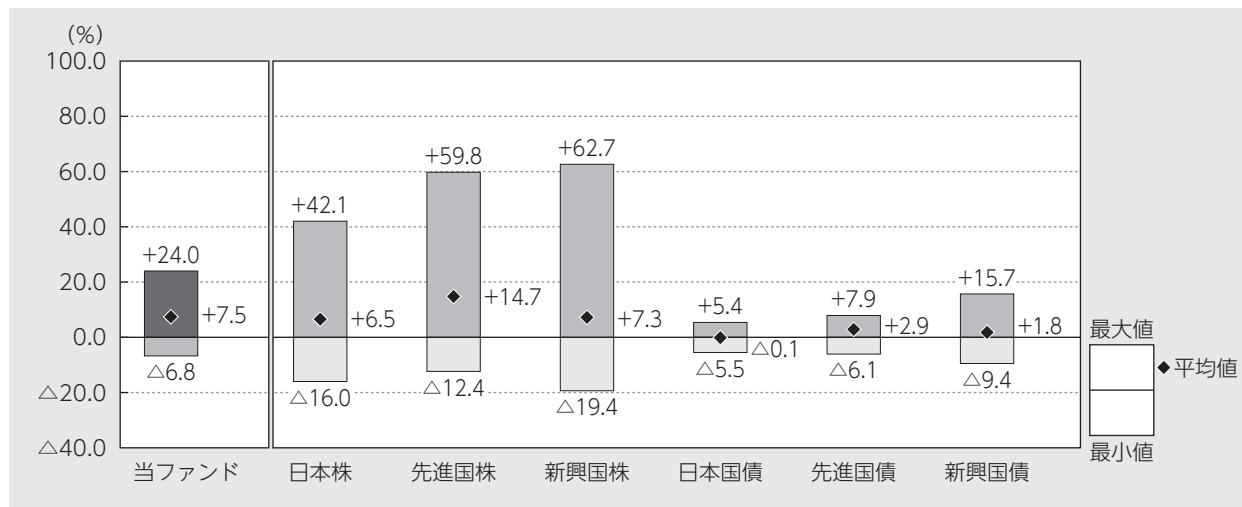
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

■ MHAM USインカムオープンBコース (為替ヘッジなし)



2018年1月～2022年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

■ MHAM USインカムオープンAコース (為替ヘッジあり)

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2023年1月30日現在)

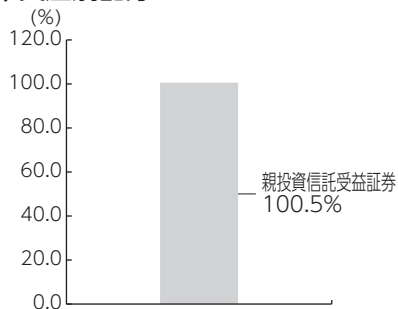
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2023年1月30日
LA USインカムマザーファンド	100.5%
その他	△0.5

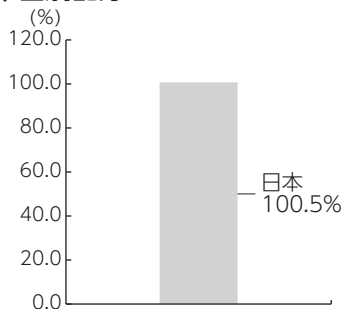
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

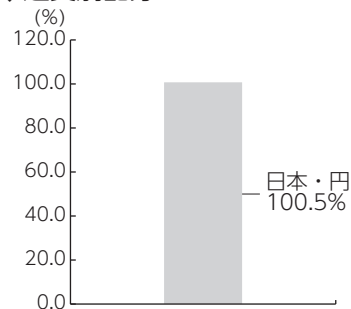
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 当ファンドでは、実質組入外貨建資産に対して、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

純資産等

項目	当期末
	2023年1月30日
純資産総額	722,430,448円
受益権総口数	788,199,816口
1万口当たり基準価額	9,166円

(注) 当期中における追加設定元本額は32,885,854円、同解約元本額は14,385,037円です。

■ MHAM USインカムオープンBコース（為替ヘッジなし）

■ 当ファンドの組入資産の内容（2023年1月30日現在）

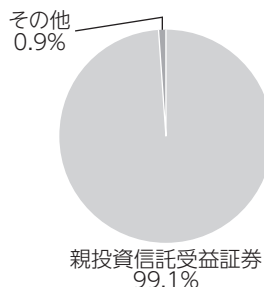
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2023年1月30日
LA USインカムマザーファンド	99.1%
その他	0.9

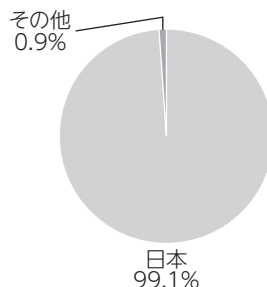
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

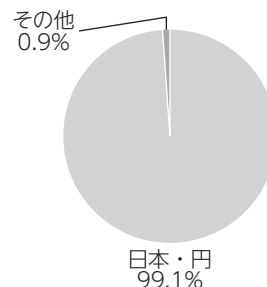
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

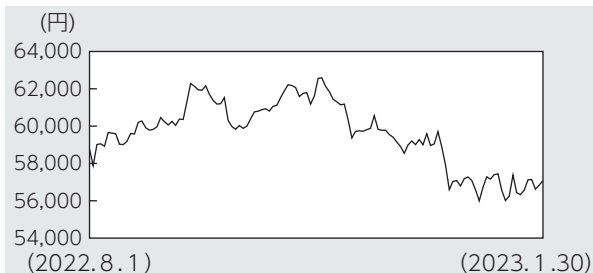
項目	当期末
	2023年1月30日
純資産総額	1,393,824,474円
受益権総口数	1,268,038,914口
1万口当たり基準価額	10,992円

(注) 当期中における追加設定元本額は242,903,461円、同解約元本額は69,550,511円です。

組入ファンドの概要

[L A U S インカムマザーファンド] (計算期間 2022年8月2日～2023年1月30日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

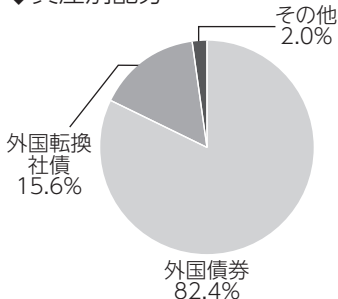
銘柄名	通貨	比率
DEXCOM INC 0.75 12/01/23	アメリカ・ドル	1.7%
DPL INC 4.125 07/01/25	アメリカ・ドル	1.1
UBER TECHNOLOGIES INC 12/15/25	アメリカ・ドル	1.0
WESTERN DIGITAL CORP 02/01/24	アメリカ・ドル	0.9
INSULET CORPORATION 0.375 09/01/26	アメリカ・ドル	0.9
HAT HOLDINGS I LLC/HAT 6.0 04/15/25	アメリカ・ドル	0.8
ORGANON & CO/ORG 4.125 04/30/28	アメリカ・ドル	0.8
ALTERYX INC 0.5 08/01/24	アメリカ・ドル	0.8
FORD MOTOR CREDIT CO LLC 4.0 11/13/30	アメリカ・ドル	0.8
PDC ENERGY INC 5.75 05/15/26	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	405銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

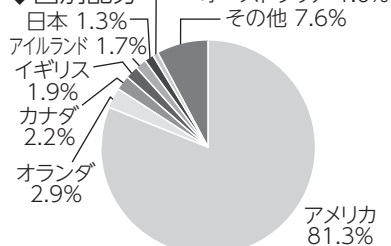
項目	当期	
	金額	比率
(a) 有価証券取引税 (株式)	0円 (0)	0.000% (0.000)
(b) その他費用 (保管費用 (その他)	23 (22) (1)	0.039 (0.037) (0.002)
合計	23	0.039

期中の平均基準価額は59,589円です。

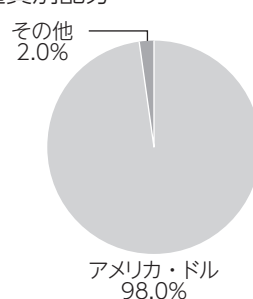
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

- 高格付け債指数 (ICE BofA US Corporate & Government Index)
- ハイイールド債指数 (ICE BofA US Cash Pay High Yield Index)
- 株式関連債指数 (ICE BofA All US Convertibles Index)

ICE Data Indices, LLC (「ICE Data」)、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

